



# 「小さいのち」の大切さを 若者たちに伝えよう

昨年の春日日本カトリック司教団は、「いのちのまなざし」という名の小冊子を出版し、人間の「いのち」というものがあまり大切にされていない風潮に対して、もう一度原点に戻りかけがえのない「いのち」の大切さについて語っています。それで「いのち」と「中絶」について考えて見たいと思います。

カトリック信者のA子さんは、中学生だったときにクラスメートのB子さんが妊娠するという事件がありました。その時友達が集まってB子さんはどうすべきかについて話し合いました。彼女は中絶すべきだという意見が大多数を占めました。A子さんは「中絶すべきではない」と主張しましたが、結局B子さんは中絶手術を受けました。

このクラスメートたちの意見はもつともだと言っていていいでしょうか。もちろんB子さんはまだ中学生、未成年であり責任能力は十分ではなく、また彼女の未来に暗い影を残すようなことはすべきでないという考えは常識的だと言えます。しかし、彼らは考えなければならぬことを忘れていたのではな

いでしょうか。それはまだ生まれていない胎児にも立派な、完全ないのちがあり、誰もそれを自由にすることができないということなのです。

現代は少子化の時代だと言われています。一人・二人の子どもしか持たない家庭が当たり前になっています。数十年前は五人・六人兄弟というのは普通で、どこの家でも年長の子どもたちは母親が弟・妹を妊娠・出産・育児するのを見ながら成長し、小さいのちがどれほど大事で貴重であるかを見て体験していました。しかしこのごろの若い世代はそのような体験を持つことができません。一人っ子や二人兄弟では、そのような体験ができませんのです。

今日の若者は、一人、二人しか兄弟がいないので、身近な他人とのかわり、特に自分より弱い者、小さい者との接触が不十分で、特に幼児の中にあるいのちの重さを感じる体験ができていません。その代わりに勉強に追い回され、進学・出世競争の中に巻き込まれ弱い者には価値がないと思いつまむようになり、また遊びでは、コン

ピューターゲームの戦争ゲームや格闘ゲームなど、実際に存在しないゲーム上の世界で暴力や殺人などの体験をして、本当のいのちに触れる時間が無い。このような状態の中で、やがて中絶は罪悪ではないと考えるようになり、まだ一・二ヶ月の胎児はいのちではない、中絶してもかまわないと思うようになるのではないのでしょうか。

もちろん「体験が無いから過ちを犯しても仕方がない」ということではありません。若い人たちが結婚して、愛の結晶として生まれてくる子どもを育て、養っていく中で小さいのちの大切さに気づくようになります。しかし、すべて

の若者がそれに気づくわけではありませぬ。私たちは一人でも多くの若者に生まれる前の「いのち」の大切さを正しく認識するように呼びかけていかなければなりません。特に若い女性には、自分の体の中に神から与えられたいのちを大きくむ機能が賜物として与えられていることを知らせ、また同様に若い男性にも女性に与えられているこの賜物を尊敬し、大切に守っていくことの大事さを知らせていくことは私たちの大事な使命と言えるでしょう。

(カトリック司教 深掘 敏)



私たちは、  
一人残らずみんな、  
かつては、  
この「小さいのち」だった。  
自分ではまだ幸せを築けない  
「小さいのち」は、  
まわりの人々の  
温かさの中で育まれて  
大きくなっていく。

# 二度目のヴァージニティー

「生理学的には、ヴァージニティーは一度失うと、取り戻すことができません。しかし、精神的、道徳的には取り戻すことができるのです。」

性的禁欲は十代の若者にとって健全な選択です。その理由はそうすることで妊娠せず、エイズを含めた性病にかからず、むの彼らの身体的健康が増進されるからというだけでなく、精神的な健康も増進されるからなのです。

しかしながら、多くの十代の若者が間違った選択をし、セックスを行なっています。一九九四年にアラン・ガトマツハー研究所が出した報告書によると、十代の若者の70%が16歳になるまでは、ヴァージニティーを保っています。ということは16歳の若者の約30%がセックスを経験していることになります。

なぜこれらの若者はセックスするのでしょうか。この問題に関する報告書を詳しく見てみると、四つの重大な際立った特徴がある事がわかります。

一、セックスをしている十代の

若者に関する統計には、今はセックスしてなくても、セックス経験のある人は全て含まれています。

二、若者によるセックスは、普通、粗暴な行動、麻薬、アルコールの乱用、学業不振、離婚家庭といった社会心理学的な問題と関係があります。セックスはもっと深刻な問題の兆候なのです。

三、多くの十代の若者は強要されてセックスをしています。同じアラン・ガトマツハー研究所の報告書によれば、14歳未満の少女の10人中7人が、15歳未満の少女の10人に6人が、しばしば、年上の男性と不本意なセックスを経験しているのがわかります。

四、性的虐待は十代の若者のセックスと関係があります。アラン・ガトマツハー研究所が一九九二年に発表した報告書によると、妊娠した十代の若者の多くがそれまでに性的虐待を経験していることがわかります。55

%が性的いたずらをされ、42%がレイプされそうになり、44%が実際にレイプされていることがわかります。このように性的暴力が非常に多いことは、予期していなかった憂慮すべき発見でした。その報告書によって、非常に危険の多い性行動に影響を与えている決定的な要因としての性的虐待が今まで見落とされてきたことがわかりました。

セックスしている十代の若者の大部分は、そうしたいと望んでいないでしょう。一九九四年の世論調査では、セックスしている少女の62%が大人になるまでセックスするのを待ったほうがよかったと思っていることがわかりました。

もしセックスしている若者が、レイプや友達からのプレッシャー、孤独、好奇心からなどといったものが原因でそうなったのであり、十代での性行動の結

果が常に、妊娠、性病、エイズ、罪悪感、自暴自棄、不安、幻滅等のような悪しきものであると考えられるならば、彼らの多くがいつかこのような行動を取ったことを後悔し、変わりたいと望むことは当然のことです。

ここに二度目のヴァージニティーという考えが生まれてくるのです。まさしくそうなのです。その考えは若者に次のように訴えています。あなた達は変わり、人生の方向を修正し、人生を建て直し、再び禁欲を保って生きることが出来ます。「二度目のヴァージニティー」という言葉は医学の専門用語でもなく、辞書にも載っていないでしょう。生理学的には、ヴァージニティーは一度失われるとそれを取り戻すことはできません。しかし、精神的、道徳的には取り戻すことができるのです。それは道理にかなっているのです。つまり、禁欲がセックスを経験する前のヴァージニティーであるならば、二度目のヴァージニティーはセックスを経験した後禁欲なのです。そのキーワードは禁欲であり、いずれの場合も、現実的で、達成可能な目標なのです。若者はその言葉が好きなのです。彼らは禁欲を選ぶ際に支えを必要としています。彼らはセックスをやめることができるというを知りたいので

す。

これはアルコールの乱用をやめること、タバコをやめること、麻薬をやめることと同じようなことです。「一度麻薬中毒者だった者はいつまでも麻薬中毒者だ」というのは決して真実ではありません。これらの行動にふけっしている人は全てそれらをやめることを奨励されています。多くの更正支援団体があり、その多くは公的資金で運営されています。なぜそれが有害な性行動とは違うものだというのでしょうか。セックスは自然で、創造的な人間の機能ですが、十代においては麻薬やアルコールと全く同様に有害なのです。なぜならば十代の若者はセックスがもたらす責任と結果に対して準備ができていないからなのです。

したがって、セックスをやめる決断には、他の有害な行動をやめたいと望んでいる人々に与えられるのと同様な激励と支援が与えられる価値があります。

二度目のヴァージニティーとはどのように行なわれるのでしょうか。

一、十代の若者はこれを選択することができ、それが効果のあるものだとすることを知らねば

なりません。

二、十代の若者は変わろう、そして過去から決別しよう、と自ら決断しなければなりません。

三、十代の若者は挫折した時、驚いたり諦めたりしてはいけません。立ち上がったって、もう一度挑戦しなければなりません。

四、十代の若者は自分の過去の行動とそれがもたらした結果の責任を取らなければなりません。

二度目のヴァージニティーには自制や自尊心やセックスが何のためにあるかについての理解が必要です。

力強く支援を続けることが二つの理由で不可欠です。

一、人間が変わりうるということとを信じないまたは変わることを望まない人々からのプレッシャーや軽蔑や反対に負けないために、力強く支援を継続することが不可欠なのです。残念ながら多くの大人やいくらかの十代の若者が二度目のヴァージニティーにはげしく反発をしています。二度目のヴァージニティーを選んで若者は、「私はこのようなことをしました。しかし私が望まなければ、それを続ける必要はないのです。私にいやな思いをさせないで下さい。」

という勇気が大いに必要なのです。彼らはセックスをしたことは間違いであったという事実を認め、受け入れる勇気もまた必要なのです。

二、生活の仕方を変え、新しい友人を作り、新しい趣味を持ち、セックスに依らない方法で愛を表現し、愛する気持ちを相手に伝え、毅然とした態度で待つことができるために力強く支援を続けることが不可欠なのです。

この道を選んだ十代の若者は、彼らを支援する人々と同様に、実際セックスとは、とても素晴らしいものなので、結婚するまで待つ価値のあるものだという確信を持たなければなりません。

要約すれば、結婚するまでヴァージニティーでいることは一番よいことです。二度目のヴァージニティーはその次によいことです。その理由は同じです。自分を、未来の夫や妻、未来の子ども、家族、社会、私達への神様の計画を尊重することだからです。

この分野においては、心理学、医学、道徳は協力しあっています。一生涯の結婚生活におけるセックスのみがその目的を充たすセックスなのです。

Dr. リリアナ・アレクサンドリ

# 性経験のある十代も後悔

過去に性経験のある十代の3分の2近くが、もしやり直せるものなら高校を卒業するまで待つことを選択すると答えた。

去る七月二日に発表された、十代の妊娠を予防しようという全国的キャンペーンの一環で六月行われた調査によると、性交渉の経験がある十代の63%がもつと大人になるまで待てば良かったと回答している。

全体の数字を見ると、質問に答えた少年のうち55%が、少女は72%が待つべきだったと答えている。そして調査によれば、十代でも上の方、つまり15才から17歳のティーンエイジャーのうち58%が待つべきだったと答えている。

4分の1(24%)は未成年者は節制するべきであり、避妊薬などの入手を認められるべきではないと答えているものの、その一方、21%は避妊さえすれば、十代であっても積極的に性交渉をしても構わないと答えている。

セックスをする決心をする際に最も影響を与えたのは何かという質問に対して、十代の少年少女の多く(37%)が両親と答

え、選択肢の中で最も多い回答数であった。30%の少年少女は、友達に影響を受けたと回答している。メディアと宗教上の仲間に影響されたと答えた少年少女はそれぞれ同率の11%となっている。

しかし、多くの少年少女が過去数ヶ月の間にメディアからセックスに関する情報やアドバイスを最も受けたと言っている。実際、調査対象であった十代の少年少女の61%がここ数ヶ月でメディアからセックスに関する情報やアドバイスを受けたと回答した。57%が友人から、55%が両親からである。

回答者の多く(10人中8人、あるいは78%)が十代のうちに積極的にセックスをするのは良くないと答えているものの、過半数の回答者(54%)は、もしセックスをするのであれば必ず避妊をすべきである、と答えている。

一方、3分の2は自分の弟や妹には十代のうちにセックスをするなどは言わない、と答えている。ただし、もしセックスをするのであれば、病気に感染するのを防ぐために、避妊具などを使

うよう勧めると言った。回答者の25%は、高校を卒業するまではセックスをしないよう弟や妹に言つと答えているが、「相手の女性あるいは男性を愛しているならセックスをしても構わない」と兄弟や友人に言うた。答えたのはたったの7%であった。

また、彼らが通う学校の性教育の授業に点数をつけるとしたらという質問には、59%のティーンが「良い」をつけている。

「この調査は、十代の多くがセックスをするために、より注意深い態度を取るようになってきているという最新の状況を明らかにしています。」と十代の妊娠を予防しようという全国的キャンペーンの会の副会長であるサリー・サッチャーさんは言う。「セックスは待つことができずものだと子どもたちが理解する手助けをする上で、両親が引き続き重要な役割を果たせる、又は、果たすべきであることを明確にしたものなのです。」

ジョン・E・ドローティ  
2000年7月4日

# 「ノー」と言うだけでは不十分

エイズへの恐怖感によって、セックスの決断を下す時の、新たな実際の視点ができた。セックスが突然危険になってしまったのである。

以前では、宗教的価値観や望まない妊娠の恐れが、結婚前の性交渉を避ける主な理由であった！ところが自分の威厳を失う危険があっても、又はエイズの致命的な結果をもたせても、セックスの絶対的パワーと喜びは、ティーンエイジャーや若い大人の結婚前のセックスへの抵抗を、上回り続けているのである。

「ノー」と言うだけでは十分に阻止する事は出来ない。若い人々には、「どうしてノーなのか？」の答えが必要なのである。以下は何故結婚前のセックスが「安全でない」のかの、いくつかの大切な理由である。

\* セックスは、つきあう上で判断力を弱くする。一度関係を持ってしまうと、セックスはあまりにも力強く魅力的で、あつという間に相手との関係の中心となってしまう。セックスの親交は、本当の心の親交にとって代わる。性欲は、愛が育つ

チャンス奪ってしまうのである。

どの様に？それは、お互いを知っていく、相手の人生や性格の謎の部分をしづつ解いていく、というゆっくりとした過程を、妨害するのである。セックスの持つ激しい性質ゆえに、個人的な夢や目標、過去、くせ、欠点や価値観についての意見を、お互いに交す時間は追いやられてしまう。又セックスするつきあいでは、大切なコミュニケーションや、共通の価値観や趣味を知る事が、出来ないのである。セックスのつきあいを望む事は、それ自体が目的になる。しかし動機をごまかし、理屈をつけて、その関係が実際以上に見える様にしているのである。

\* 未熟な者同士のセックスのつきあいは、相手と関わり、結婚するという問題を早めてしまう。一部の人は軽く考えるがもしもれないが、性の表現というのは、愛と関わりの中の究極のシンボルなのである。宗教がそう教えている。社会がそれを期待している。信頼がかかっている。

愛が育って固まる時間がないと、未熟な者同士のセックスで

は、関係が壊れてしまつかもしれない恐れを引き起こすだろう。

セックスをデートの一部にしてしまうと、結婚への刺激が損なわれる。相手を求めて追いかけるのには、身体の親交を持ちたいという期待が含まれている。まだ満たされていない欲望にまつわるミス터리や興奮が、愛を育て、親しくなる時間を作るのだが…。

\* 未熟な者同士のセックスの関係には、傷心と拒絶がつきものである。相手を求める上で、多少の賭けがあるのは大切な事である。しかしある種の賭けは必要ない。拒絶されるのは辛い事だが、性交を持つていなければ、そんなに辛くはない。

セックスは、その人自身の芯に関わる事である。セックスの関係が始まった後での相手の拒絶は、自分の威厳と性への適応性への直接的な影響となる。失敗した関係の思い出というのは、もつと辛く個人的なものになるだろう。次の新しい関係を結ぶのを、感情の面で難しくするかもしれない。

\* 結婚前のセックスは、心に刻み込まれている価値観を変え

てしまつかもしれない。この社会ではセックスが無責任に扱われているが、まだ沢山の人が、結婚外でのセックスは良くない、と信じている。もしその人が純粹にそう感じるのなら、何故わざわざ美しく素敵な求愛の過程の思い出を、罪の意識と後悔で汚してしまう事があるだろうか？

結婚の初夜と新婚旅行のロマンティックな観念にも、意味がある。それ等は、愛と、愛する人と結ばれる事が、完全一体になるというシンボルなのだ。これは特別な思い出となるもので、向こう見ずで落ち着きのない情熱によって、どこかへやっつてしまつものではない。

\* 結婚する者同士の信頼とながりは、結婚後まで性交を遅らせる事により強くなる。性的な関係を持たないつきあいをする事によって、そのカップルは、セックスとは神聖で結婚した夫婦にのみあるものと認めた事になる。セックスのあるつきあいは、この原理を犯しているのである。

一部の結婚は、妊娠による強迫で始まった事から、情けないスタートをする。「結婚を決める上で、妊娠がどれだけ影響したか？どれだけが愛で、どれだけが畏だったか？」

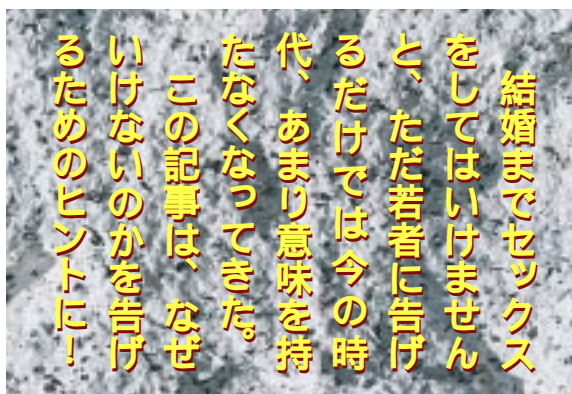
この様な疑問は、試練や問題

が生じた時に疑惑の陰を投げかけるかもしれない。

\* 愛のないセックスは、本当の心の親交を築く能力を奪ってしまう。しかし今の一般的な文化では、我々の感情と身体は切り離せると信じられている。愛とセックスは別のものであると。相手を思いやり愛する事のないセックスは、浅くはかない。セックスは、誰でも相手に出来る個人的おもちゃと、結婚の為の愛と親交の最高表現と、同時にはなり得ないのである。そんな足し引きは出来ない。

セックスする事の深い感情は、水道の水の様に止めたり出したり出来ない。見境ない性交を持つ事は、セックスの本来の意味をなくしてしまう事である。

Dr.ヴァル・フアーマー



# 親になること

家での妊娠検査で、妊娠して  
いて喜ぶべきか喜ぶべきではな  
いのか私にはよく分かりません  
いずれにせよ、あのいまわしい  
細長い棒切れは、妊娠している  
ことを示すピンク色となりました。  
私は18歳で大学生でした。

それは4月1日のことでした。  
私はボーイフレンドと一緒に家  
での妊娠検査の結果が正しいか  
どうかを確認しに、車で診療所  
に向かいました。家から診療所  
までの道のりは、まるで夢の中  
の廊下のように進めば進むほど  
だんだん細く長くなっていくよ  
うな気がしました。私は恐怖心  
を覚えましたが、それは必ずし  
も否定的な意味での恐怖心では  
ありませんでした。むしろ、学校  
で卒業できるかどうかを決定す  
る試験の結果を待っているよう  
な、不安感に近いものでした。

私達は診療所に入り、受付け  
へと行きました。受付けの人は、  
私達の受診の理由を尋ね、席に  
着いて待つよう指示し  
ました。何人かの女性が待合室  
を出たり入ったりしましたが、  
私は皆がここに何をしにきてい  
るのかを考えずにはいられませ  
んでした。何人かの女性はお腹  
に赤ちゃんを宿して訪ねてき、  
赤ちゃんをお腹から追い出して  
帰っていくのだと思うと、身震  
いがしました。中絶は私にとつ  
て選択肢とはなり得ません。し  
たが、中絶しないで済むように  
支えてくれる人達が誰も身近に  
いない彼女達に同情はしました。  
私は、そわそわと雑誌を一生懸  
命読もうとしているボーイフレ  
ンドの方を見て、彼の気持ちを  
落ち着けようと彼に微笑みかけ  
ました。しかし、私がひたすら考  
え続けたのは、次の数分間でど  
れだけ私の人生が変わるかとい  
うことだけでした。しばらくし  
て看護婦と呼ばれました。

看護婦はすぐに検査に移るよ  
うに勧めました。私は彼女の後  
に付いて検査室に入り、採血し  
ました。作業が終わると、ロビー  
で検査の結果を待つように言わ  
れました。30分ぐらいで結果が  
出るだろうとのことでした。  
私はボーイフレンドと一緒に  
新鮮な空気を吸いに外へ出、私  
の一生の中で一番長く感じた30  
分間を歩き回りました。私達は  
お互いに余り語らず、どちらか

というそれぞれの考えの中に  
浸りきっていました。どうにか  
時間が経ち、私達は診療所に戻  
りました。すでに検査の結果は  
出ていました。

看護婦は私に部屋に入るよう  
合図をしました。私は両手を強  
く握り締め、カウンセリング室  
に入り、私達の後ろで扉は閉め  
られました。看護婦は自分の机  
の椅子に、劇的な効果でも上げ  
るかのよう、ゆっくり、落ちて  
いて、座りました。彼女は私に検  
査の結果を手渡し、私はそれを  
見ました。私の震える手の中に  
は、ピンクのプラスサインが付  
いたプラスチックの箱がありま  
した。

「ジェニファー、ごめんなさい  
ね。」看護婦は頭を横に振り、と  
ても気の毒そうな顔をしました。  
私は彼女の謝罪の言葉に戸惑い  
ました。私が微笑んだ時の、彼女  
の失望したような表情を覚えて  
います。彼女は、私の年齢と生活  
事情を思いおこさせました。私  
自身、自分一人で子どもを育て  
られないことは分かっています。  
たので、どこか援助をしてくれ  
る場所の電話番号を知らないか、  
と尋ねました。彼女はそういう  
場所を全く知らないとのことだ  
でしたが、そういう情報を全く患  
者に与えられないということを、  
私はとても妙に感じました。当  
然、今までにも私と同じような

状況で、自分の子どもを育てて  
いくために必要な情報を欲し  
がった人はいたはずですが、それ  
なのに、何故この診療所は、それ  
な重要な情報を収集していない  
のでしょうか。

看護婦は、私に両親のことを  
再び思い出させ、彼らにこの  
ニュースを伝えなければならな  
いという、私の言いようもない  
恐怖心を煽りました。彼女は「簡  
単な方法」へ私を導こうと、私の  
恐怖や心配など否定的な事柄ば  
かりを攻め立てました。一度も  
その言葉を口にはしませんでした  
たが、彼女が考えている私の唯  
一の選択肢が中絶であることに  
疑う余地もありませんでした。

私が反対すると、彼女は、中絶の  
費用や手続き、養子縁組情報、そ  
して出産前の注意を書いた小さ  
な抜粋文が載ったパンフレット  
の束を私に突き出しました。彼  
女はその束を私に渡し、決心が  
ついたらまた来るように言いま  
した。私は彼女が、私を別の患者  
と間違っているのではないかと  
思いました。なぜなら、私は赤  
ちゃんを産みたいということ、  
そして妊娠したことが私には悪  
いニュースではないことを、  
はっきり告げたはずでした。彼  
女は、個々の要求や希望を持つ  
た一人人としての私には全く関  
心がなく、ただ診療所のために  
利益を上げることにのみ関心を

持っていたのです。

私は診療所を去り、ごみ箱に  
パンフレットを投げ捨て、たっ  
た一人でお祝いを始めました。

私は12月10日に女の子を出産  
しました。私の赤ちゃんはあら  
ゆる面で完璧です。あんなに妊  
娠したことを告げるのが恐かつ  
た私の両親は、こちらが圧倒さ  
れてしまうほど私を支援してく  
れ、そして、生まれてきた赤ちゃ  
んに夢中です。今私は両親と  
もに家に住んでおり、私の生活  
も元の軌道にのりました。私は  
毎日、この赤ちゃんを私に授け  
てくださったことを神様に感謝  
しています。

私はよく、あの日、私と同じ時  
にあの診療所にいた他の女性達  
のことを考えます。果たして彼  
女達の赤ちゃんには、私が自分  
の赤ちゃんに与えたような生き  
る機会是与えられたのでしょうか。  
恐怖に直面して、将来のこと  
を考えるのがどのようなことか、  
私自身その立場にいたのでよく  
分かります。あの看護婦は、私を  
操り、脅かし、私が間違ったこと  
だと思っていることをさせよう  
としたのです。今、私は、他の妊  
娠しているお母さん達に、この  
ような中絶診療所のことを知ら  
せたいと思います。彼らは、あな  
た方のことになど全く関心がな

# 資料紹介

## カラー・パンフレット

『202』

### 第二の処女性

私たちは普通、処女を失えば、もう二度と戻らないと考えますので、第二の処女性という言葉は聞き慣れないと思います。例え私たちが失敗して、生物学的には処女は戻らなくても、精神的な清さを取り戻すことは可能です。そのために私たちに必要な決心は何でしょうか？その決心を実行して、第二の処女性をいつでも手に入れることができます。そして、それで、あなたは新しい出発が出来るのです。

#### 【 内 容 】

- \* 第二の処女性とは？
- \* なぜ第二の処女性が選ばれるのか？
- \* どうすれば第二の処女になれるのでしょうか？
- \* もしつまずいたら？

結婚前の性生活について  
もう一度考えてみましょう。

パンフレットは組合せが自由です。  
右の表を参考にお選び下さい。

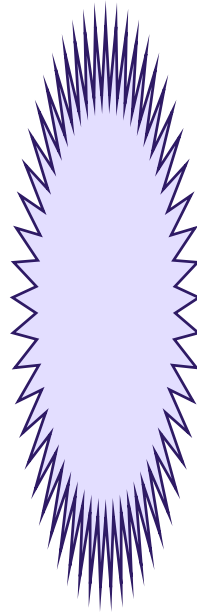
#### 新しいビデオ

【412】 ユースセミナー7 『ポルノの害毒』  
3800円+送料

【511】 赤ちゃん：最初の十ヶ月の旅  
【515】 経口避妊薬：ピル

注文： 1 - - - - - 5 1部 = ￥100  
6 - - - - - 20 1部 = ￥75  
フルカラー 21 - - - 999 1部 = ￥50  
1000 - - 以上 1部 = ￥35

性教育の材料として、学校、教会、家族、産婦人科



ジェニファアー・クリフォード

(5ページから)  
く、また、彼らはあなた方に選択肢も与えてくれません。代わりに、あなた方が断わりたいけれど断れない中絶をするように強要します。どうか、自身と自分の赤ちゃんのために、強くなって彼らを拒んでください。あなたの赤ちゃんのいのちが危険にさらされているのです。そして、それは全てあなた次第なのです。

#### 【プロ・ライフニュース】

[101] 1部ご注文 ..... 無料 ..... + 郵送料

#### 【カラー・パンフレット】

- [201] 生か死 ..... + 郵送料
- [202] 第二の処女生 ..... + 郵送料
- [203] デート ..... + 郵送料
- [204] どうするの？ ..... + 郵送料
- [205] "NO" という技術 ..... + 郵送料
- [206] ティーンの出産コントロール ..... + 郵送料
- [207] バージンの瀬戸際 ..... + 郵送料
- [208] していましたか ..... + 郵送料
- [209] 親権限と「10代の性」 ..... + 郵送料
- [210] 貞節のすすめ ..... + 郵送料
- [211] 中絶行為は女性を解放しない ..... + 郵送料

#### 【ポケット・サイズ】

- [301] 若い生命「1セット=カード+人形」 .....30円 + 郵送料
- [303] 国際プロ・ライフ・シンボル・ピン .....200円 + 郵送料
- [304] 国際プロ・ライフ・ネックレス .....500円 + 郵送料
- [305] 胎児の人権宣言カード .....30枚=100円 + 郵送料
- [306] ミニソフィア Ace エース(税別) .....7980円 + 郵送料

#### 【ビデオ+ 本・日本語】

- [401] 沈黙の叫び ... (VHS/Beta) .....7000 + 郵送料
- [403] ビリングス・メソッド ..... (VHS/Beta) ...7000 + 郵送料
- [404] いのちーおくりもの ..... (VHS) .....13000 + 郵送料
- [407] 命美しいもの = one&only ..... (VHS) .....20000 + 郵送料
- [409] 聞こえる？天使の鼓動 ..... (VHS) .....6000 + 郵送料
- [410] ビル先進国・英国からの警告 ... (VHS) ...15000 + 郵送料
- [411] (ユース・セミナー) エイズ時代の性倫理 ... (VHS) ...3800 + 郵送料
- [500] (本) 生命問題に関する ... (カトリックの教え) ...2987 + 郵送料
- [501] (本) 自然な家族計画 ... (ビリングス・メソッド) ...1000 + 郵送料
- [503] (本) プロ・ライフの旅 .....300 + 郵送料
- [504] (本) 小さな鼓動のメッセージ .....1200 + 郵送料
- [505] (本) いのちをみつめて .....500 + 郵送料
- [506] (本) 命あるすべてのものに(マザー・テレサ) .....660 + 郵送料
- [507] (本) 私の生命を奪わないで .....2300 + 郵送料
- [508] (本) いのちの福音 .....1500 + 郵送料
- [509] (本) 小さき生命のために .....1300 + 郵送料
- [511] (本) 赤ちゃん：最初の十ヶ月 ...12ページ ...100 + 郵送料
- [512] 本 日本プロ・ライフ・ムーブメントについて .....300 + 郵送料
- [513] 本 カトリック教会と日本プロ・ライフ・ムーブメント .....500 + 郵送料
- [514] 本 神様は中絶をどのように言っておられるでしょう .....300 + 郵送料
- [515] (本) 経口避妊薬：ピル .....100 + 郵送料
- [516] (本) いのちの福音と教育 .....1470 + 郵送料
- [517] (本) フマネ・ヴィテ .....300 + 郵送料

#### (本) フマネ・ヴィテ

- 1 - - 30 1部 = 250円
- 31 - - 100 1部 = 200円
- 101 - - 以上 1部 = 150円

#### パンフレット申し込み

- 1 - - 5 1部 = 35円
- 6 - - 100 1部 = 25円
- 101 - - 500 1部 = 20円
- 501 - - 以上 1部 = 15円

組み合わせ  
は自由です

# 十代の性 (28)

問：もしもレイプされて妊娠したら、中絶すべきではないでしょうか？

答え：まず最初に、レイプされた女性が簡単に妊娠するという誤った認識を改めましょう。本当に暴行を受けレイプされ、妊娠へと至るケースは希です。なぜなら排卵から24時間しか妊娠の可能性はありません。排卵前にレイプが行われたとしたら、心的ストレスやショックから身体のリズムが乱れ、排卵が遅れることが考えられます。排卵の直後に起こったレイプのみが妊娠につながり、故にその可能性自体も低いのです。

レイプで妊娠した女性に対するあなたの提案の意味するところは？ レイプの恐怖に加え、さらに中絶したというトラウマも抱えて生きると、その方法による問題の「解決」を社会が祝福しているということになります。

けれども現実には中絶で解決などせず、被害者は墮ろした赤ちゃんのことが心のしこりとしてずっと残るものなのです。

では彼女が今最も必要としているのは何でしょうか？すでにレイプされ、その事実とともに生きていかなければならない彼女は、その状況を受け入れ家族や友人や社会も自分を愛し、支えてくれていると実感したいのです。窮境を経ても、まだ自分は愛し愛される人間であると。周囲の心遣いと理解をあたたく受けとめ、今度は彼女が赤ちゃ

平和を破壊するいちばん恐ろしいものは墮胎です。なぜなら、子どもを殺すのはその子の母親自身だからです。若い女性達は両親を恐れ、世間の人々を恐れるあまりに、墮胎することがよくあります。でも彼女たちを助けなければなりません。マザー・テレサ

## 子ども達に真実を話す

貞潔について快活に話すバム。ステンツェルの姿を見れば、彼女がなせ子ども達の心をとらえるのかすぐにわかるでしょう。彼女は、ティーンエイジャーの妊娠の問題や性行為感染症、エイズについて、月におよそ2万人もの若者達に話しています。

バムは真実を率直に、受け入れやすい雰囲気です。その話のほとんどが「セックスには価値がある」というテーマです。婚姻外ではセックスをしないという彼女の哲学は、全米のティーンエイジャーの尊敬を得ています。

「世の中にはいいことと悪

んに愛を届けようという気持ちになり、それはきつと養子という形で実現するでしょう。レイプの不幸な事件の思い出が愛に基づく行為に置き換えられるでしょう。

悪と悪を重ねても、正義は生まれません。暴力で暴力を収めることもできません。罪のない胎児のいのちを奪って問題を解決しようとしても意味のないことです。

いことがあります。私達はそれを子ども達に教えてこなかったのです」と、バムは言います。

彼女は、ティーンエイジャーに性や貞潔について教育するストリート・トークという組織の創立者です。

バム自身は、養父母のもとで育ちました。「私の家は熱心な中絶反対主義でした。私はティーンエイジャーの頃から、機会があればスピーチに参加していました。中絶のこともや養子制度のいい面などについて語りたかったからです。中絶は選択には入らないとみんなに知ってもらいたかったのです。そういう希望はいつも心の中にありました。

高校卒業後、シカゴの大学に通いながら、週末にはボランティアでプロ・ライフ・センターの手伝いをし、後にその局長にまでなりました。

センターでティーンエイジャーの少女達にカウンセリングをしているうちに、性問題で間違った選択をしたらどのような結果になるかについて、学校がどれだけ教えているのか疑問を持つようになりました。「彼女達は、正しい知識もな

たのです。危険を理解して、いず、全くの無知でした。悪い結果になるなんて予想もしていません。に、子どもを生むわけにはいかならないとか、子宮を摘出しなければ一生治らないとか、妊娠して初めてその危険を知るので、その時にはもう遅いのですが。

この経験からバムは、子ども達に直接接する必要性を痛感しました。そこで、ティーンエージャーに話をすることを始めたのです。「本当のことを知れば、正しい選択をする子どもはたくさんいるのですから」と彼女は言います。

「スピーチのスケジュールがあまりにぎっしり入ったので、これはしばらくの間スピーチだけをしてほしいと神様が私におっしゃっているのだと思うようになりました。ですから今はそれだけをやっています。いつかこんなスケジュールがこなせなくなったら、プロ・ライフ・センターに戻ります。私の心はいつもそこにあるのですから。

バムは公立学校の集会でよくスピーチをし、たいそう歓迎され

## Q & A

## 会員募集

寄付: 十万円 五万円 三万円

一万円 五千円 一千円

無料: 毎月プロ・ライフ・ニュースレター

あなたの寄付はまだ生まれていない赤ちゃんを守る運動のため使用させて頂いております。私たちと一緒に小さい命を大切に育みましょう。

## 御送金

銀行：四国銀行朝倉支店  
口座番号：0573553  
日本プロ・ライフ・ムーブメント  
郵便局：「郵便振替」  
現在口座番号：01660-5-39607  
日本プロ・ライフ・ムーブメント

### 事務所たより

学校では二学期が始まり、事務所では今月号のために性教育に関する記事のいくつかを探しました。先日、いつもプロ・ライフ・ニュースを読んで下さって、それらを捨てずにファイルもして下さっていると言う方のお骨折りで、福岡県のある市の保健体育科からお電話があり、相変わらず人気ZONの『沈黙の叫び』（日本語版）のビデオを、その市のすべての学校に置くために本御注文頂きました。お本のビデオは学校では一人だけ見るのではないので、毎年毎年くりかえし、新しい学生達に見てもらえることにより、どんなに多くの学生達が、いのちのことを学び、胎児が人間であることを実際に認識出来ることでしょうか。また、このビデオはTBS系の『ここが変だよ日本人』で放映されたり、性教育でのいのちの教育は今、社会一般にも広がりを見せています。先日は子どもたちが読む漫画『別冊フレンド6月号増刊』（講談社発行）でもビデオの胎児が迷惑う場面がまんが化され取り上げられました。このビデオをまだ御覧になっていない場合は是非一度手に取って見て下さい。事務所では金銭的に許す限り、全国の公立の中・高等学校や産婦人科にこの運動を述べ伝える行きたいと考えていますが、それは皆様お一人一人の善意のお気持ちにすぎるとは思いません。どうかよろしくお願致します。また、間瀬雅夫先生はドン・ボスコ社より『聖書を生きる』愛といのちと神のはからい』を出版されました。そこには愛について、結婚について、いのちの尊さ、家族計画について…等大きく8つに分かれて、プロ・ライフに関する文章が子どもたちにも分る言葉で述べられています。機会があれば是非読んでみて下さい。

日本プロ・ライフ・ムーブメント

(7ページから)

ています。が、時には貞潔についての彼女の話は受け入れられないのではないかという意見が出ます。子ども達が彼女のメッセージに耳を傾けないのではないかと疑う人々もいるのです。

ところが、最近行った高校では、スピーチの後生徒達は立ち上がって拍手をしました。後で何人かの生徒が、「今まで誰もこんなこと言ってくれなかった」と言いましたよ。一度しっかりと議論をすれば、子ども達は理解します。彼らに理解できるように情報はコンパクトで、しかも真実でなければならぬのです。

高校生に語りかける一方で、彼女は夜、生徒の親達にもスピーチをします。「昼間のスピーチには、千人もの生徒が聞きに来るといふのに、夜に来る親は三十人ほどです。親はもっと子どもと話しあわなきゃ。」バムは、話をわかりやすくするために、日常的な状況を設定するのが良い方法だと考えています。「子どもが十二才になるころまで待つてはだめ。理解できる年頃になったらすぐ始めることです。」

「そして、親が子どもの良き見本になれることが大切です」と、彼女は言います。「子ども達は学校で、物事に良い・悪いの区別はないと教えられています。つまり、自分がどう感じるかで物事の価値は決まると教えられています」と、ため息をつきます。「私達にはまだ教会に通う習慣が根づいています。家庭と教会で論理的価値観を教育すれば、必ず子ども達の身につくでしょう。そして、す

ばらしいことだー子ども達に何を教えたのか知らないが、成果を上げているじゃないか」と言ってしまう。自分たちの子どもにこういう価値観を教え込むことができずに、どうしてその子ども達にまで浸透させることができるでしょう? 「バムは微笑んで言います。「本当のことを言えば……この価値観は私達のルールではないのです。神様から私達に与えられたものですから。子ども達には真実を知らせなくてはなりません。」

キャロル・ケルマイヤー

『沈黙の叫び』を見て

### まるで物のように

ビデオを見て、まず思ったことは、このビデオは将来母親になる私達だけではなく、男の子にも見て欲しいということです。妊娠中絶をして、父親も心を痛めるでしょうが、母親の方は、精神面だけではなく、身体面にも深い傷を受けるからです。

容器の中に人としてではなく、まるで物のように入れられている赤ちゃんを見て、心が痛みました。本来ならばこの子達は親から暖かく迎えられ、容器ではなく、暖かいベッドの上に寝かされていたのだから、とビデオを見ながら考えていました。

中絶を経験した人を責めることは確かにできないし、してはいけないと思います。でも、母親の人生やいのち、あるいはそれと同等のものと引き換えに失われた他のいのちの重みをしっかりと見据えて生きて欲しいと思います。

1・Mさん「高三生」